

しんぶん  
**赤旗**

日刊 ●月 3497円  
日曜版 ●月 930円

南地域後援会は本町・寿・緑・若松・栄・白山・船戸・新田がエリア

連絡をいただければ「しんぶん赤旗」の見本を届けます



# しらかば

日本共産党我孫子南地域後援会  
発行責任者 木村 文次

## 6月議会報告

## 市は独自の生活支援対策を！

73%と急増しています。全市民を対象にした生活支援が必要として、国・県頼みでなく市独自の政策を求めましたが、何ら具体的な政策を示しませんでした。



防災対策については、6月2・3日の大雨の日の状況を示し、何度目かの質問をしまし

2019年の「くらしのアンケート」では、「生活が苦しくなった」が57%でしたが、今回は

**岩井議員の質問**

日本共産党市議団は、先に行われた「くらしのアンケート」に基づき質問を行いました。

物価高騰は市民生活に大きな影響を及ぼしています。また新型コロナウイルスから3年半が過ぎましたが、依然として収まらず9波に入ったといわれています。



野村貞夫

た。室内では防災無線が聞こえず、スイッチを入れないとも防災情報が聞ける防災ラジオの配布については、今回も具体的な回答はありませんでした。

**野村議員の質問**

はじめに東我孫子駅のバリアフリー化について地域住民が2度にわたって要求書提出と話し合いを行ってきた経緯をふまえて質問しました。

東我孫子駅の将来構想を問いましたが、JRの特定事業計画にはないが、市は今後も協議は続けていくと答えました。

**野村議員の質問**

また東部地域でのあびバスの増発・延伸について提案しましたが、既存のバスとの兼ね合いと利用状況を見て検討するとの回答でした。

旧鈴木屋から西消防署間の歩道は電柱もあり50cmしかない箇所があり、市の認識を聞きました。

乗りの段差をなくしてほしいとの質問は、天王台駅東口を含め今年度着手する予定だと答えました。

日本共産党我孫子市議団のホームページのサイトは <https://jcp-abiko.com/> です。スマホのQRコードはこちらから。→

一緒に進んで進めたいと思います。2つ目に国道356号のバリアフリーについて質問しました。

**野村議員の質問**

乗りの段差をなくしてほしいとの質問は、天王台駅東口を含め今年度着手する予定だと答えました。

乗りの段差をなくしてほしいとの質問は、天王台駅東口を含め今年度着手する予定だと答えました。

乗りの段差をなくしてほしいとの質問は、天王台駅東口を含め今年度着手する予定だと答えました。



### 市政を語る会のお知らせ

▼場所 我孫子南近隣センター (けやきプラザ8階) 第1会議室  
▼日時 7月17日(月：海の日) 14:00から  
野村議員のほか、岩井議員と船橋予定候補の出席を予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。  
主催 日本共産党我孫子南地域後援会

### 「我孫子市議選勝利の集い」報告

6月24日、東あびこ近隣センターこもれびホールにて我孫子市議選勝利の集いが開かれました。

コーラスによる歌唱後、渡辺我孫子市議員長より「今日の集いを秋の市議選の始まりにしたい」との開会挨拶で集いが始まりました。

中島千葉副委員長からの情勢報告の後、渡辺我孫子市議員長より市議選予定候補として、岩井こう現議員と船橋まさる予定候補が紹介されました。

そして岩井議員から5期目に挑戦への決意。野村議員の後を引き継ぎ市政に挑戦する船橋まさる予定候補からは、「人生一回。(我孫子市)二つの明かりを消してはならない」と強い決意表明がなされました。

最後に全員で「ガンバロー」とさらに強い決意表明で集いは閉会しました。(編集部)

### オオバン

2月から「くらしのアンケート2023年」を始め、約850通の回答が寄せられています。その中で、我孫子南地域の方からの回答が121通ありました▼また、Q7の「意見、ご要望をお聞かせください。」に64%にあたる77人の方から回答があり、名前を記入した方が23人いました▼地域要求では国道356号線の歩道の改善、あびバス、カーブミラー、街灯に関するものが多く見られました。早速、市と交渉し解決したのもあります▼星野市長5選や、市政国政に関する意見も多数ありました▼30代、20代の子育て世代の方から「生活が苦しい」「助けてください」と「日本の未来を作るこの世代に希望を捨てさせないでください」との声には、日本社会の深刻な矛盾が表れていると感じました▼共産党に対する批判もありますが、それ以上に期待の声が寄せられています▼「しらかば」は編集します▼「読みかた」は編集します▼「読みかた」は編集しました▼Q7以外の「その他」に書かれた意見も全てデータ化しました▼住所氏名を書かれた方のお宅を訪問し、直接意見を伺っています▼アンケートの内容を分析し、今後の我孫子市政に生かしていきます。

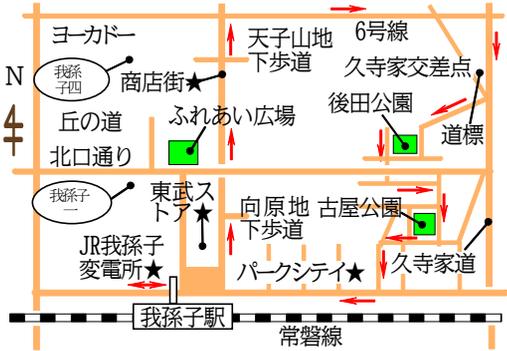
(白山 R)

# 我孫子古道巡り 2064 我孫子一・四丁目を巡る



我孫子駅北口前

今回は、我孫子一丁目と四丁目を巡ります。昭和52年から我孫子一丁目の殆んど、我孫子四丁目の南側地域で北口駅前区画整理が始まりました。私が我孫子にきた当時（平成に元号が変わったころ）は、北口駅前には造成中で重機が入り、雑木が残るだけで店らしきものはありませんでした。現在は区画され、ビルが建ち並ぶ街



6号線を横断する「天子山地下歩道」を抜けると、つくし野一丁目です。6号線を東に向かい久寺



我孫子四丁目の商店街

に戻り駅前広場を北に向かい、北口通りの下を通る「向原地下歩道」を抜ける。と我孫子四丁目です。ヨーカ堂に続く道が出来て動線が変わってしまいましたが、北に延びる道沿いには、区画整理から外れた、昔からの商店街があります。

に変わりました。駅周辺は台地の先端で西と東、北には谷津が展開する地形です。我孫子駅北口を出ると我孫子一丁目です。西に進むと「JR我孫子変電所」があります。



JR我孫子変電所

は、以前ダイエーと太陽神戸銀行（現三井住友銀行）がありました。

家交差点に出ます。この辺りには「我孫子城」があったようです。久寺家道を南に向かうと天子山社に続く参道に「道標」があります。西に向かう坂道を下ると「我孫子後田公園」があり、南に向かうと「後田橋」の橋脚下はバイクの駐輪場とタクシースタンドの休憩場になっています。「我孫子古屋公園」を過ぎて、マンション「パークシティ我孫子」の場所には、

家交差点に出ます。この辺りには「我孫子城」があったようです。久寺家道を南に向かうと天子山社に続く参道に「道標」があります。西に向かう坂道を下ると「我孫子後田公園」があり、南に向かうと「後田橋」の橋脚下はバイクの駐輪場とタクシースタンドの休憩場になっています。「我孫子古屋公園」を過ぎて、マンション「パークシティ我孫子」の場所には、

家交差点に出ます。この辺りには「我孫子城」があったようです。久寺家道を南に向かうと天子山社に続く参道に「道標」があります。西に向かう坂道を下ると「我孫子後田公園」があり、南に向かうと「後田橋」の橋脚下はバイクの駐輪場とタクシースタンドの休憩場になっています。「我孫子古屋公園」を過ぎて、マンション「パークシティ我孫子」の場所には、



我孫子古屋公園



後田橋橋脚下



我孫子後田公園



久寺家交差点

103系1000番台をはじめ、他所から103系「お古」が転入してきたのは老朽化した車両の置き換えだけではありません。もう一つの理由が現在にまで至る15両運転です。いつも見慣れている快速電車の15両編成ですが、在来線では最大編成（山手線11両、中央線・京浜東北線・総武線10両）。ただ東海道線や高崎線・宇都宮線など東京近郊線区を走る中距離電車も15両編成ですが、こちらはグリーン車2両が連結されているため普通車としては実質13両編成。1両4力所、15両で60力所の側面ドアが一斉に開閉するのは常磐線快速電車だけに見られるシーンです。当時、常磐線快速電車の混雑率は相変わらず高く、1985年のつくば博覧会に、土浦・水戸・平（現いわき）を結ぶ中距離電車は1足早く15両編成化しました。それならば103系の通勤電車も15両にして欲しいと沿線から国鉄に強い要望がだされましたが、国鉄は「構造的にできません」との返答を繰り返すばかり。しかし、大きな設備変更をすることなく可能であることがわかり、国鉄民営化初年度の1987年12月から103系の15両運転が始まりました。

## 常磐線あれこれ 30

しらかば文芸欄 12 書道・寿 芳華



「自在心」 禅語  
束縛のない思いのままの心



「やまゆり」 若松・高橋祥子



15両編成快速電車

当初1988年3月のダイヤ改正からの予定を繰り上げたのは着ぶくれシーズンに前倒したのですが、新車を投入せずに15両編成化できたのは他線から「お古」をかき集めたことが功を奏しました。（緑 竹内）

（采 関口）